

**平岡どんぐりの森**は、地域の身近な自然に親しむ活動をしているグループです。  
平岡公園や東部緑地をフィールドに2002年に活動を始め、自然観察会や地域の生きもの調査・保護活動などを続けています。  
大人も子供も一緒に自然の中で楽しく遊びながら、身近な自然を大切に見守る目を増やしていきたいと願って活動しています。



## 2024年度 平岡どんぐりの森 ◆◆平岡どんぐりの森は、こんな活動をしています。◆◆

新しい春がめぐってきました。長靴をはいて外に飛び出しましょう！

新年度のどんぐりの森の活動が始まります。マスクはまだ完全には手放せないけれど、明るい陽射しの下で、背筋を伸ばして深呼吸をして、たっぷりと春を楽しみたいですね。

### ながぐつの土曜日

(4月～10月と2月の第3土曜日 10:00 平岡公園第一駐車場集合 参加費 100円)



平岡公園には森や林、小川や池、湿地、原っぱと、いろいろな環境とそこに生きる動物や植物がいます。ながぐつの土曜日では、平岡公園の隅々まで知り尽くした自然観察指導員の『ゆうさん』こと佐藤祐一さんと一緒に園内を歩きます。子どもたちの視線に合わせた観察会ですが、大人だけの参加も大歓迎です。申し込み不要で、どなたでも参加できます。

### 平岡公園ツリーウォッチング

(5月～10月と2月の第3水曜日 10:00 平岡公園第一駐車場集合 参加費 200円)



公園内の樹木を中心に歩いて歩く、大人のための観察会です。固い冬芽が膨らんで若葉が顔を出す季節に始まり、新緑から紅葉まで四季の森を楽しみながら、樹木についての知識も深めてしまおうという欲張り企画です。2月は公園管理事務所前に集合して、スノーシューで雪の森を歩く予定です。  
自由参加ですから、ふらっと覗いて見て下さい。

### 夏休み・冬休み 平岡公園にぎわいフェスタ



夏休みと冬休みに各1回、ながぐつの土曜日スペシャル版として、平岡公園を知り尽くそう・遊び尽くそうというイベントを、公園管理事務所との共催で開きます。  
夏には水中の生き物調べで小川に入って魚採り、実験コーナーや特別展示コーナーも作ります。冬休みは、スノーシューをはいて管理事務所前を出発、雪の森を探検します。管理事務所提供の暖かいお汁粉も楽しみですね。

## モニタリングサイト 1000 里地調査

環境省と日本自然保護協会の共同プロジェクト「モニタリングサイト 1000 里地調査」は、毎年同じ時期・同じ場所で定点観察を続けることで自然環境の変化を記録するものです。『平岡どんぐりの森』は、2008 年からこのプロジェクトに参加してカエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査を続けています。

### ●エゾアカガエル（平岡公園内）

**エゾアカガエル**は春の産卵期に、産卵可能なサイズの全てのメスが 1 匹あたり 1 つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。調査地の平岡公園内では、在来のエゾアカガエル以外に国内外来種の**トノサマガエル**の生息が問題になっています。**ながぐつの土曜日**や**にぎわいフェスタ**では**トノサマガエル**を、現在各地で問題になっている外来生物について考えるきっかけとして取り上げています。

### ●野鳥（東部緑地の繁殖期と越冬期）

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約 1 km を往復して、半径 50m 以内で目視した鳥類の種名・個体数を記録します。繁殖期（6 月・7 月）と越冬期（1 月・2 月）に歩きますが、野鳥ばかりではなく植物や動物（**エゾリス**や**エゾユキウサギ**など）との出会いもあり、楽しい時間になっています。

### ◆2023 年の調査より◆



#### エゾアカガエル（調査日 '23 年 3/15 4/9 4/15）

2023 年は 3 月中旬頃より産卵が始まり月末にピークを迎えました。人工湿地での卵塊数は予想以上に多く確認できましたが、はらっぱエリアでは昨年より減少しているため、カエルの産卵場所が変動していることが考えられます。

調査結果 総数（卵塊数）478

梅の香橋エリア 82 上流湿地 43 はらっぱエリア 16

はらっぱエリア奥 21 人工湿地 316 トドマツ横の小池 0



#### 鳥類（繁殖期）調査日 '23 年 6/9 6/23 7/8

新緑の爽やかな季節に夏鳥（春に南から渡ってきて繁殖し、秋に南へ渡っていく鳥たち）の声を聞くと嬉しくなりますが、この時期は**エゾハルゼミ**が鳴き始め、野鳥の鳴声が遮られることもあります。ところが今年はセミの鳴き声が激減？ 夏に出番の**エゾゼミ**も例年より少な目でした。夏鳥として**ウグイス**、**キビタキ**、**オオルリ**、**センダイムシクイ**、**カワラヒワ**、**アオジ**、**ヤブサメ**、**メジロ**、**キセキレイ**、**モズ**、**キジバト**、**ツツドリ**、**アオサギ**、**オオジシギ** を視認。



#### 鳥類（越冬期）調査日 '24 年 1/12 1/31 2/9

長靴とスノーシューで歩く雪原には**エゾユキウサギ**や**キタキツネ**、**エゾリス**の足跡がたくさん見られました。立春を過ぎると陽ざしは暖かく、

カラ類のさえずりが森に響きました。冬鳥（秋に北から渡ってきて越冬し、春に北へと帰っていく鳥たち）として**ベニヒワ**、**マヒワ**、**ツグミ**、**アオシギ**。

夏・冬を通じて見られる鳥は、**シジュウカラ**、**ヤマガラ**、**ゴジュウカラ**、**ハシブトガラ**、**ヒガラ**、**ヒヨドリ**、**ミソサザイ**、**シマエナガ**、**アカゲラ**、**オオアカゲラ**、**ヤマゲラ**、**コゲラ**など。